

菅前首相、視察し謝辞



津田沼校舎正門の検温所前で(左から)松井学長、菅前首相、瀬戸熊理事長



学生食堂で瀬戸熊理事長(中央)から説明を受ける菅氏(手前左)



インフルエンザワクチンの接種を受ける学生

菅氏は視察後、「本日、大学を訪れ、新型コロナウイルス、インフルの両ワクチンが同時接種できる環



NHKの取材に答える福江聡総務部長(右)

新型コロナウイルス、インフルの両ワクチンを無料で同時接種した例は他大学になかったため、一部テレビ局が取材に訪れ、本学の取り組みがメディアで広く紹介された。

本学、異例の早期接種

本学を訪れた菅氏は懇親の場で開口一番、「ま



ワクチン接種会場を視察する菅前首相ら

新型コロナウイルス
インフル

両ワクチンを無料で

冬の到来でインフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行が懸念されるなか、本学は、インフルエンザと新型コロナウイルスの両ワクチンの同時接種が可能、との医療報告を踏まえ、11月29日から12月4日まで、新型コロナウイルスの4回目職域接種と同時にインフルエンザワクチンも大学負担(無料)で学生・教職員に接種した。開始翌日の11月30日には、菅義偉前首相が津田沼キャンパスを訪れ、両ワクチンの接種会場と本学の学生支援や感染症対策への取り組みを視察した。

NEWS CIT

2022
12.15
ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344
<https://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

- 2面 岡本さんらグッドデザイン賞 / 鳥羽さん、根立さんゴールド賞 / 野村さん自律ロボ競技で準優勝 / 東京理科大学柔道・男子団体が優勝
- 3面 皆既月食をPERCライブ配信 / エコメッセで村上研・南澤研展示 / 信川教授・熊野さんらADHDを実データと数理モデルで解析 / 5年度推薦系入学者選抜終了 / 出版案内
- 4面 第73回津田沼祭、対面で実施

皆既月食ライブ配信

PERC 秋田谷上席研究員が解説



①皆既月食の配信画面と②秋田谷上席研究員

千葉県八街市教育委員会と本学惑星探査研究センター（PERC）は11月8日、市内の小・中学生と保護者を対象に皆既月食の特別観望会を開き、その様子をYouTubeでライブ配信した。観望会は今年で2年目、昨年は雲で見えなかったものの、今年のコンディションは良好。昨年に続きPERCの秋田谷洋・上席

生と保護者を対象に皆既月食の特別観望会を開き、その様子をYouTubeでライブ配信した。観望会は今年で2年目、昨年は雲で見えなかったものの、今年のコンディションは良好。昨年に続きPERCの秋田谷洋・上席

研究者が解説を行った。皆既月食は、太陽と地球と月が一直線に並び、満月が地球の影に完全に覆われる現象で、今回は日本全国で見ることができ、時間帯や月の高度、継続時間も好条件。月が本影の中心に近い位置を

今年度のYouTubeの再生回数は2695回と過去最多を更新した。質問に対応した秋田谷上席研究員は「せっかくの皆既月食、自身の目で見てほしい」と話した。

通過するため、皆既の状態が長時間続き、赤く染まった幻想的な月の姿を、ゆっくゆっくと眺めることができた。

参加者からは「昨年にも参加しました。楽しい企画がいっぱい」「先生の話をきいて天体観測を楽しみたいことができた」「YouTubeでの配信だったため見逃した部分に遡ることができた」などと感想が寄せられた。

水環境保全、多様性を守る

エコメッセで学部生・院生らが活躍

環境活動の見本市「エコメッセ2022 in ちば」が10月23日、幕張メッセ国際展示場で3年ぶりに対面開催された。今年のテーマは「people・笑顔のバトンをつなげよう」。本学の生命科学分子生態工学研究室（村上和仁教授）、教育センター南澤研究室（南澤慶寛准教授）など大学・市民団体・企業・行政、オンライン参加を含め82団体が多様な取り組みを展示した。



村上研④と南澤研⑤の展示



環境毒性評価「なごを」発表。千葉県沿岸域で採取したマイクロプラスチックの標本も展示した。

今回は、4年生11人と修士1年生2人の研究成果をパネル展示。▽生物指標による県内河川環境マップの作成▽谷津干潟（谷津川・高瀬川）の生物環境調査▽小松川自然

環境毒性評価「なごを」発表。千葉県沿岸域で採取したマイクロプラスチックの標本も展示した。

今年度のYouTubeの再生回数は2695回と過去最多を更新した。質問に対応した秋田谷上席研究員は「せっかくの皆既月食、自身の目で見てほしい」と話した。

南澤研「SDGsの目標17：パートナーシップで目標を達成しよう」をテーマに展示。日本最古のカレンデュラ（キンセンカ）の生息・栽培地である南房総市×南澤研究室×オークランド植物園（ニュージーランド）の3者が連携して生物多様性の回復を研究している。

今年度は「原種ユズとカレンデュラから始まった物語」として、1本の電話から始まったカレンデュラとの出会いと、3者連携に至るまでをパネル展示。▽台風直撃の南房総市でカレンデュラの秘められた力の発現を発見した南澤研の報告▽カレンデュラの原産国ギリギス共和国から南房総市に移住し農園を始めた元海外青年協力隊の夫婦、南房総市職員と市民団体から託されたカレンデュラの新規機能分析結果▽殺菌・殺虫剤に頼らず最適な健康状態を示す植物の生態系を確立したNZの植物園とのパートナーシップを南澤研の院生・学部生10人が来場者に紹介。南房総市・中東・オセアニアで栽培されたカレンデュラを比較展示し、植物に最適な再生パワーを守ることがSDGsを達成する近道であることを示した。

今年度の推薦系入学者選抜が終了。令和5年度総合型（創造）選抜が10月15、16日に実施されたのを皮切りに11月20日学校推薦型選抜（指定校制・帰国生徒指定校制）、編入学選抜（指定校制・高等専門学校）▽同26日特別選抜（指定校制・帰国生徒指定校制）が実施された。

ADHD 実データと数理モデルで解析

信川教授と熊野さんら



写真右と指導の信川教授（情報科学専攻修士1年、信川創研究室）

ADHD患者の左右の瞳孔径は刻々、特徴的に変化する。信川教授らはこれまで、瞳孔径を制御する神経系を計算機上に構築する数理モデルを提案。近年、明らかになってきたADHDと脳深部の青斑核（LC）との関係を、実データと併せて解析してきた。

ADHD患者の左右の瞳孔径は刻々、特徴的に変化する。信川教授らはこれまで、瞳孔径を制御する神経系を計算機上に構築する数理モデルを提案。近年、明らかになってきたADHDと脳深部の青斑核（LC）との関係を、実データと併せて解析してきた。



角田教授

DXやデジタル人材が本格化する一方、日本のデジタル人材の不足感

デジタル人材、自ら育成を

ユーザーシフト宣言



著者：角田仁・金融・経営リスク科学科教授
発行：クロスメディア・パブリッシング
価格：1408円（税込み）

デジタル人材育成を薦める。角田教授によると、ユーザー企業は長年、IT企業へ過度に依存してきたが、今後は自らデジタル人材を育成して依存から脱却することが日本経済復興のカギだと言っている。これをユーザー企業中心の「ユーザーシフト」と述べている。

子どもたちを乗せたミニ電車が復活



秋の大学祭「第73回津田沼祭」(実行委員長・稲泉美輝さん)が11月19、21日の3日間、津田沼キャンパスで開催された。一昨年・昨年とコロナ禍でオンライン開催に移行していたが、今年は3年ぶりに対面で実施。停滞していたさまざまな活動を、今回の祭りで前へ進め、躍動する姿を届けたい――掲げたテーマは「前進」写真下。自身の前へ、物事もよりよい方向へ、との思いを込めた。



第73回津田沼祭

実行委スタッフの努力をたたえるように、秋晴れに恵まれた初日、実行委・自治会の学生と関係教職員が見守る中、開会宣言が行われた。展示発表件数やイベントは3年前に比べると、さすがに縮小済み。それでも初日、開放されたキャンパスには地域の人々が続々と訪れ、笑い声と笑顔で一気ににぎやかな空間に。



対面復活「前進」掲げ キャンパスに笑顔



ギターを弾いて楽しいひとときを……

名物企画の「ロボットコンテスト」や「ちびっこてづくり教室」に「よさこいソーラン風神部」の迫力ある舞いが加わり、来場者は楽しい時間を過ごした。2日目は学生・市民お待ちかねの「プロコンサート・お笑い&トークショー」が開かれた。ゆったり感、

バンピーノ、はんにゃ、カミナリが登場し、会場は笑いに包まれた。さらには恒例のビンゴ大会で最高に盛り上がった。3日目は、無念の雨。野外での企画展開は短縮されたが、屋内では人気「e-sports大会」を開催。「大乱闘スマッシュブラザーズ SPECIAL」を使って干葉工大最強の勇者を決める戦いが繰り広げられた。

今年が創立80周年を迎えたことで、3日間を通して記念企画を実施。干葉工大の歴史を写真で振り返る「メモリアル記念館」には、懐かしい行事、学生たちの姿が飾られ、未来へ向けて何をしたいかを書き込める場も用意された。このほか昔の遊びを再現するミニゲームや子ども向け

「コマの絵付け体験」などの企画でにぎわった。実行委員長の稲泉さんは「3年ぶりの対面開催となりましたが、約1万人にご来場いただき、実りある大学祭になりました。関わっていただいた全ての方に感謝します。来年もよりよい大学祭にしたいです」と語った。



稲泉実行委員長



ハンマーを振るって、だるま落とし



よさこいソーラン風神部の演舞



ロボットコンテストは満員の人気



ドローンの飛行体験に挑戦



創立80年を振り返るメモリアル記念館

編集だより
2022年も、残すところあとわずかとなりました。この一年を振り返ると、ついでないことが多かったような気がする。右足の骨折から始まり、骨折が原因で血栓症となり、人生で初めて救急車に！ そのまま入院。これだけでもたいそ



うな出来事なのに、肩が突然痛くなり動かせず、着替えるたびに涙(大げさでなく)等、この他にも多々あるのだが、心配をかけるだけなので割愛。悪い運氣から逃れるにはどうしたものかと調べたところ、ツイていないと思うのではなく、自分自身が大きく変化する前兆なんだと、捉えるといらしい。自分が置かれている状況から人生が好転していく節目。それが

「運氣の変わり目」だといふのだ。今年最後、クリスマスに大好きなキンキキッズのコンサートに当選した。大晦日の紅白、年越しライブでも2人の姿を見ることが出来ると思うと、想像するだけで運氣上昇といった気分。皆様におかれましても、良い年越しになりますよう、お祈りしています。
入試広報部
大橋 慶子

四季雑感
12月に入り街はクリスマス飾り付けに彩られています。津田沼キャンパスのクリスマスイルミネーションも輝き、大学から津田沼駅に向かう道でイルミネーションを撮影している人の姿は、お馴染みになっています。今年がサッカーW杯開催の年、開催国の中東



(カタール)は夏時期に気温が40度を越えるため、初めて冬時期の開催となりました。今大会で日本代表は、ベスト16で敗退してしまいました。が、グループリーグで強豪国であるドイツとスペインの2カ国と対戦して見事勝利を飾ったことに驚きと、日本のサッカーが世界に通用することを示した素晴らしい試合でした。また、日本人サポーターが試合後にスタジアムのゴミ拾いをする

行為に対して、大会の運営委員会から表彰されました。サッカーの試合だけでなく、日本人サポーターのマナーの良さがクローズアップされたことに、同じ日本人として嬉しく思いました。次回のW杯こそは、悲願のベスト8に進出を！
これから寒さが一層厳しくなりますが、皆様どうぞ良いお年をお迎えください。
教学センター
軽部 伸吾

PPA
このコラムを書いている今は、4年に1度のサッカーの季節。W杯が非常に盛り上がっている。今大会は、ゴールしてもすぐに一喜一憂させてくれない。「半自動オフサイドテクノロジー」で腕が僅かにオフサイドラインを出ていると言われ

可能性があるし、ラインをボールが割ったかどうかミリ単位で判定されるからである(日本はこの技術に救われた側)。調べてみると、スタジアムの屋根に数台のカメラが設置され、選手達をAIでトラッキングしていたり、センサ内蔵のボールで位置・回転・速度等を計測しているとのこと。もはや巨大な実験施設である。

ここで取られたデータは、その試合の審判のためだけに、大会の運営委員会から表彰されました。サッカーの試合だけでなく、日本人サポーターのマナーの良さがクローズアップされたことに、同じ日本人として嬉しく思いました。次回のW杯こそは、悲願のベスト8に進出を！
これから寒さが一層厳しくなりますが、皆様どうぞ良いお年をお迎えください。
人工能・ソフトウェア技術研究センター
吉川 友也